

## 平成30年度第2回鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会概要

日時：平成30年9月5日（水）10:00～12:00

場所：鳥取県庁議会棟3階 特別会議室

出席者

鳥取県県土整備部 山内部長（谷次長 技術企画課 前田課長 藤井課長補佐 中野係長  
県土総務課 米田室長）

鳥取県産業人材センター 山本所長

国立大学法人鳥取大学 梶見理事・副学長（吉野准教授）

鳥取県教育委員会（中原係長）

鳥取県町村会 湯梨浜町齋藤建設水道課長

鳥取県測量設計業協会 長本専務理事

鳥取県建設技術センター 山田代表理事（浅田事務局長、澤建設支援課長、三原参与、前田主幹）

鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課 澤課長 米田係長

協議事項

議題1 これまでの取組による成果と課題について

- ・不足する人材、ICT活用の普及により必要となる人材の確保に向けた普通科、私立、機械・電気電子・情報処理系の高校への魅力発信ガイダンス等の取組による建設産業へのイメージ改善や魅力発信を行う。
- ・各高校の習熟度に応じた人材育成プログラムを進めるため、時間的な余裕がない学校側のニーズに応じたオーダーメイド型の支援を行う。
- ・建設産業のキャリア形成に必須となる資格取得の向上が図られるよう、学校側と協議会の連携による効率的かつ継続的な支援を行う。
- ・業界団体の共通認識と連携のもとでインターンシップの活性化が図られるような仕組みの検討が必要である。
- ・必要とされる資格は職域で異なるが、若手は無資格者の割合が高く、受験資格ができるまでの期間に資格取得に対する意識醸成や現場を意識した実践的な研修等の企画が必要である。
- ・鳥取大学のインターンシップの参加が今年度に限って減少しており、人員を増やすとういことも今後課題として考えられる。
- ・普通科高校のインターンシップについては、来年度以降も続けて、選択肢の中に建設産業を入れていただくよう教育委員会にお願いしたい。
- ・より早い時期から建設産業の役割・意義、ものづくりの魅力等に対する意識醸成を図るため、建設系絵本の読み聞かせ、魅力発信講座、職場体験学習や親子で楽しめる土木ツアー&土木カフェ等の取組を通じて、高校進路選択や就業選択に対する意識改革が図られるよう、引き続き魅力発信に取り組んでいく。
- ・中学校の職場体験と高校のインターンシップの成果等を取りまとめ市町村教育委員会等へ情報を提供したい。
- ・協議会で継続的に取組むため、財源確保については関係機関（教育委員会、商工労働部、県土整備部）で協議して進めていく必要がある。

議題2 地域課題の抽出と今後の取組みについて

- ・建設業、測量設計業ともに40歳未満の雇用者が非常に少なく、災害復旧、除雪、維持管理等の地

域を維持するための建設産業を担う人材の確保・育成が必要である。

- ・専門高校の定員が減っている状況において、普通科等からの入職の増加が必要である。
- ・若者の早期離職や企業において人材を育てる余裕がない状況から、協議会によるキャリア形成支援が重要である。
- ・倉吉農業高校において、土木施工管理技士検定試験の実務経験年数の短縮を受けられるよう、指定学科の認定を受けること、また、中部地区に建築系（土木系）学科設置という、建設業協会からの出ている2点の要望を教育委員会に申し入れしなければいけない。
- ・魅力発信等で、建設としてどう社会を支えているのかを小中学生に分かりやすく発信して、将来像を描けるような活動を考えなくてはならない。

### 議題3 鳥取県人材育成強化会議について

- ・鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会は、鳥取県人材育成強化会議のワーキンググループとして位置づけられている。
- ・9月7日開催の2回目の鳥取県人材育成強化会議では各分野のワーキンググループ会議で出された意見を踏まえて議論される。（専門大学ありきで議論をされているものではない）

#### （意見）

- ・早期の資格取得が離職防止に繋がる。資格取得の受験をするには技術系、技能系ともに職域に出るから一定期間の仕事の経験年数が必要である。
- ・資格取得にメリットがないと、建設分野に専門職大学はなじまないと思う。
- ・専門職大学というのは学校教育法に基づく文科省所管の所であり、産業人材育成センターは厚生労働省所管の職業能力促進法に基づく職業訓練校なので全く別物だという認識である。  
専門職大学がどのような学部学科でどのような人材育成を目的とするのかを固められたうえで産業人材育成センターと重複するようなことがあれば、行政の常として整理統合ということは当然であり、それは次の話だろうと考えている。
- ・専門職大学の問題はカリキュラムだと思われる。取り組むべき分野はあると思う。
- ・型枠、鉄筋といった技能系の専門職大学で人材を育成できるのであればよいことだと思う。
- ・鳥取大学としては、専門職大学を県がつくるのであれば協力をする。
- ・資格支援が、技術者にとって大きなメリットであり、若い人材を早く育てて未曾有の災害に対応できる人材を早く作らなければいけない。専門職大学でそれらをカバーできる何かメリットがあれば建設業界等も変わってくると思う。今後また議論を重ねていかなければいけないと思う。